

公益財団法人放射線影響研究所

第 15 回評議員会

概要報告

公益財団法人放射線影響研究所 第 15 回評議員会が、2025 年 6 月 18 日と 19 日の両日、広島研究所において開催された。

主な議題と討議結果は次のとおり。

1. 事業報告、決算

2024 年度の事業実行状況について、事業報告（国際協力活動、海外との共同事業等を含む）、決算報告、監査報告および付属書類により報告され、異議なく承認された。

2. 事業計画、予算および関連事項

被爆者の健康に関する調査研究事業、被爆者の子どもの健康に関する調査研究事業、原子爆弾の個人別線量とその影響を明らかにするための調査研究事業、研究成果の公表と他機関との研究協力事業、国内外の専門家を対象とする研修事業、一般向け啓発事業などの 2025 年度事業計画およびこれらを実施するための実行予算について報告された。

3. 放影研戦略計画および移転計画

放影研に課せられたミッションを達成するための戦略計画とそれを実施するための取り組みについて、広島大学霞キャンパスへの移転の進捗状況とともに説明し、それに対する討議が行われた。

4. 科学諮問委員会の勧告および勧告への対応

2025 年 3 月 3－5 日の 3 日間、第 52 回科学諮問委員会が開催され、今年は部門横断的なトリオゲノム研究と疫学部に焦点をあてて審査が行われた。トリオゲノム研究については、本格的な解析を開始する準備ができていることが確認され、疫学研究については被爆者・被爆二世のがん及びがん以外の疾病のリスク評価のための解析が順調に進んでいることが報告された。また、年齢や性、臓器の解剖学的情報などを考慮した新たな線量評価手法を使って、今後より精緻な放射線影響の評価が期待できるなど、様々な科学諮問委員会からの勧告の報告とそれに対する放影研の対応が協議された。

5. 理事、評議員、科学諮問委員等の選任

今評議員会の終結時に任期満了となる理事、評議員、科学諮問委員および地元諮問委員の後任者の選任に加え、新たに設置が義務付けられた外部理事 1 名の選任が行われた。任期はいずれも別紙（ ）内に示された年の定時評議員会の終結までとなる。

(別紙)

理 事 の 選 任 Appointment of Directors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular)
held in () year.

理事長(代表理事) Chair (Representative Director)	神 谷 研 二 Dr. Kenji Kamiya (2027)
副理事長兼業務執行理事 Vice Chair/ Executive Director	Dr. Preetha Rajaraman (2027)
業務執行理事 Executive Director	兒 玉 和 紀 Dr. Kazunori Kodama (2027)
理 事 Director	Dr. Gil Latz (2027)

評議員の選任 Appointment of Councilors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in () year.

<p>早 野 龍 五(2030) 東京大学名誉教授</p> <p>Dr. Ryugo Hayano (2030) Emeritus Professor, The University of Tokyo</p>	<p>Dr. Jonathan M. Samet (2030) コロラド公衆衛生大学院 教授、 前大学院長 Professor and former Dean, Colorado School of Public Health</p>
<p>米 倉 義 晴(2026) 大阪大学放射線科学基盤機構 招へい教授</p> <p>Dr. Yoshiharu Yonekura (2026) Guest Professor, Institute for Radiation Sciences, Osaka University</p>	<p>Dr. Joe W. Gray (2026) 米国オレゴン健康科学大学およびカリ フォルニア大学サンフランシスコ校 名誉教授 Professor Emeritus, Oregon Health and Science University and the University of California, San Francisco</p>
<p>小 林 正 夫(2027) 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 相談役</p> <p>Dr. Masao Kobayashi (2027) Consultant, Japanese Red Cross Chugoku- Shikoku Block Blood Center</p>	<p>Dr. Keith R. Yamamoto (2027) 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校 教授、科学政策・戦略担当副総長、 精密医療担当部長 Professor, Vice Chancellor for Science Policy and Strategy, Director UCSF Precision Medicine</p>
<p>佐 野 利 男(2029) 前原子力委員会委員・元軍縮会議日本政 府代表部大使</p> <p>Mr. Toshio Sano (2029) Former Commissioner of Japan Atomic Energy Commission and Former Ambassador, Permanent Representative of Japan to the Conference on Disarmament</p>	<p>Dr. Angela Bies (2029) 米国メリーランド大学公共政策学部 世界的慈善および非営利事業リーダーシ ップ寄付講座 准教授 Endowed Associate Professor of Global Philanthropy and Nonprofit Leadership, School of Public Policy, University of Maryland</p>

科学諮問委員の選任

Appointment of Scientific Advisors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in () year.

<p>山 本 精一郎 (2030) 静岡社会健康医学大学院大学 教授 国立研究開発法人国立がん研究センター 特任研究員</p> <p>Dr. Seiichiro Yamamoto (2030) Professor, Shizuoka Graduate University of Public Health and Specially Appointed Researcher, National Cancer Center, Japan</p>	<p>Dr. Garcia-Closas, Montserrat (2030) ロンドン大学がん研究所 疫学教授 兼 グループリーダー Professor of Epidemiology and Group Leader, Institute of Cancer Research (ICR)</p>
<p>鈴 木 元 (2026) 医療法人保内郷厚生会 保内郷メディカルクリニ ック 医師</p> <p>Dr. Gen Suzuki (2026) Medical Doctor, Honaigo Medical Clinic, Honaigo Koseikai Medical Corporation</p>	<p>Dr. Nilanjan Chatterjee (2026) 米国ジョーンズ・ホプキンズ大学医学部 ブルームバーグ公衆衛生大学院 腫瘍学部 生物統計学科 ブルームバーグ特別教授 Bloomberg Distinguished Professor, Department of Biostatistics, Bloomberg School of Public Health and Department of Oncology, School of Medicine, Johns Hopkins University</p>
<p>島 田 義 也 (2027) 公益財団法人 環境科学技術研究所 理事長</p> <p>Dr. Yoshiya Shimada (2027) President, Institute for Environmental Sciences</p>	<p>Dr. Gayle E. Woloschak (2027) 米国ノースウェスタン大学フェインバーグ医 学研究科 放射線腫瘍学部 教授 Professor, Departments of Radiation Oncology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University</p>
<p>今 岡 達 彦 (2028) 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 放射線影響研究部 修飾要因・幹細胞研究グルー プ グループリーダー</p> <p>Dr. Tatsuhiko Imaoka (2028) Group Leader, Modifying Factor/Stem Cell Research Group, Department of Radiation Effects Research, National Institute of Radiological Sciences, Quantum Life and Medical Science Directorate, National Institute for Quantum Science and Technology</p>	<p>Dr. Patrick Concannon (2028) 米国フロリダ大学医学部 病理学・免疫学・臨 床検査医学科 名誉教授 Professor Emeritus, Department of Pathology, Immunology and Laboratory Medicine, College of Medicine, University of Florida</p>
<p>松 田 文 彦 (2029) 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学セン ター長</p> <p>Dr. Fumihiko Matsuda (2029) Director, Center for Genomic Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine</p>	<p>Dr. Melissa Haendel (2029) ノースカロライナ大学チャペルヒル校 精密医療トランスレーショナルインフォマテ ィクス学部長 Director of Precision Health & Translational Informatics, University of North Carolina</p>

地元諮問委員の選任 Appointment of Local Advisors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in () year.

越 智 光 夫 (2027)

広島大学 学長

Dr. Mitsuo Ochi (2027)

President, Hiroshima University

永 安 茂 (2027)

長崎大学 学長

Dr. Shigeru Nagayasu (2027)

President, Nagasaki University